

旗振山の春

旗振支部 秋田正之

垂水方面から旗振山へ登るには、塩屋から全山縦走路を登るのと柏台南公園付近から登るのがほとんどだ。74歳で大病するまではヒヨコの例会や夏山登山に行くため、柏台南公園から旗振茶屋署名所まで20分もかからず登って足腰を鍛えたものだが、大腸がんと肺がんを併発して手術後五体不満足になってからは、休み休み登るものだから50分もかかるようになった。人について行けずマイペースで登るので、それまで眼中になかった山の中に咲く花が気になるようになった。3月中旬になると中腹から梅林にかけての登山道左斜面に自生しているコバノミツバツツジが点々と咲きだすと旗振山にも春がきたなと実感する。



春の訪れを感じるコバノミツバツツジ

梅林から上は山陽電車の須磨浦山上遊園で登山道も園内の遊歩道になり旗振茶屋署名所迄続く。

3月下旬から4月上旬にかけて西部展望台から遊歩道沿いにソメイヨシノが咲き旗振山の春もたけなわとなる。旗振山に毎日登山していて最も幸せを感じる季節だ。下手な文章より写真をご覧ください。



山上遊園から八伏山を望む

今年はコロナの感染予防のため、「園内での飲酒を伴う宴会や大人数での長時間の食事などのご遠慮ください」などと張り紙していたので誰も来ていなかった。山陽電車も梅林の宣伝はよくしているが、あまりさくらの宣伝はしていないが須磨浦公園のさくらよりは山上遊園のさくらの方がきれいと思うので、ヒヨコ登山会の皆さんコロナが終息したら来年は旗振山へ「いらっしゃ〜い」！！



見事に咲いた旗振山の桜

.....

